

M3・5型中量物品棚 組立・取扱説明書

このたびは、**TRUSCO**スチール棚をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、棚板の増設・交換・補充が簡単にできます。また部品についても、ネジレや横ブレ等が生じない高精度を実現しています。塗装は、焼付塗装をほどこし、サビ・キズ等に強く、汚れも目立ちません。オフィス・工場倉庫・店舗で、末長くご使用いただけます。

- M3 型：棚 1 台当りの最大積載量：2500kg / 台
- M3 型：棚板 1 段当りの均等積載量：300kg / 段
- M5 型：棚 1 台当りの最大積載量：2500kg / 台
- M5 型：棚板 1 段当りの均等積載量：500kg / 段

※各棚板の均等積載量の合計が、最大積載量/台を超えないように、また重心がなるべく下部になるように調整してください。

※「最大積載量」とは、各棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計をいいます。

※「均等積載量」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さをいいます。

安全上のご注意

ご使用のまえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ この組立・取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。



警告

取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ 最大積載量以上の荷物を置かない

棚が傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■ 足をかけたり、よじのぼったりしない

転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らしたりして、けがをする恐れがあります。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■ 不安定な場所に置かない

棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをする恐れがあります。



注意

取扱いを誤った場合に、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 組立は組立・取扱説明書の手順に従う

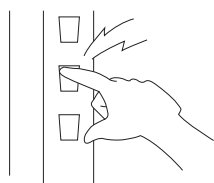
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。

■ 重い荷物を上段に置かない

重い荷物は下段に置いてください。棚が転倒し、けがをする恐れがあります。

■ 棚板のつぎ目など、隙間に指を入れない

切断面や取付穴のカドなどで、けがをする恐れがあります。



■ かたよった収納はしない

バランスを失って棚が転倒し、けがをする恐れがあります。

■ 最上段の棚板に荷物を置かない

棚が倒れたり、荷物が落下してけがをする恐れがあります。

■ 変形・破損したまま使用しない

転倒・落下により、けがをする恐れがあります。

■ 改造や無理な修理、分解をしない

部品の取り付けを誤ると、棚が分解し転倒してけがをする恐れがあります。また、切断面などでけがをする恐れがあります。

■ 火気の近くに置かない

やけど、火災の原因になります。

■ 屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない

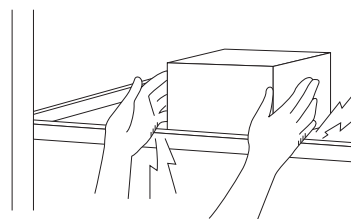
棚が腐食し、倒壊する恐れがあります。

■ 解体移設をするときは組立・取扱説明書に従う

部品の取り付けを誤ると、棚が分解・転倒し、けがをする恐れがあります。

■ 棚板を裏向きにして使用しない

指などを折り返し部にひっかけ、けがをする恐れがあります。



●転倒防止オプションをご用意しています。購入先にお問い合わせください。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの組立・取扱説明書を添えてお渡しください。

※この組立・取扱説明書は、紛失しないよう大切に保管してください。

品番の見方	M3	6	3	5	5	B	:	NG	
機種(均等荷重) M3=300kgタイプ M5=500kgタイプ	高さ	間口	奥行	棚板段数(天地)	増結タイプ (単体の場合は無記号)	色			
	4=1200mm 5=1500mm 6=1800mm 7=2100mm	3= 900mm 4=1200mm 5=1500mm 6=1800mm	5= 471mm 6= 571mm 7= 721mm 9= 921mm 12=1121mm(300kgタイプのみ)			ネオグレー色			

組み立てる前に

梱包内容がすべてそろっているか、ご確認ください。

※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※「警告表示シール」を同梱しています。棚板前面に貼付してください。

※枕木を2本ご用意ください。組み立てが容易になり、製品や床への傷つきを軽減します。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

組み立て方

梱包内容(天地5段仕様の場合) 段数が増減した場合、棚板、中棚受・C型補強(M5型のみ)の数が増減します。

棚板および部材はM3型(300kg)兼用になっています。

奥行921、1121の場合は1段につき棚板2枚になります。

その他の共用部材

ベースプレート 4個

ロックピン 8本

C型補強(1段につき2本)

※M3型用棚板1段につきC型補強を2本使用することでM5型用棚板となります。(天地5段仕様の場合10本必要です。)

M5型用C型補強の取り付け

下図4「棚板の取り付け」の前に、C型補強を天棚受、中棚受ともに取り付けます。

1 柱枠の組立て

ベースプレートを取り付けた支柱2本を、向かい合わせに床に置き、中棚受をはめ込みます。

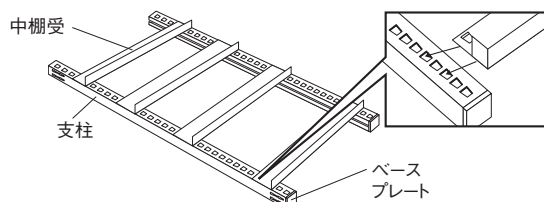
最下段は下から3つ目と5つ目の角孔にはめ込んでください。

※支柱の角孔は台形をしており、短辺側が下になるようにします。

※段移動ピッチは25mmです。

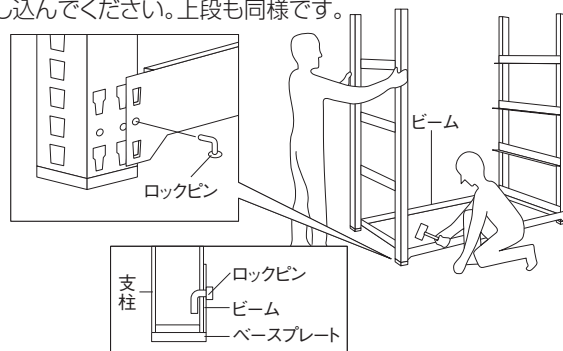
50mmピッチの場合

中棚受の取付位置は最下段は下から2つ目と3つ目の角孔にはめ込んでください。



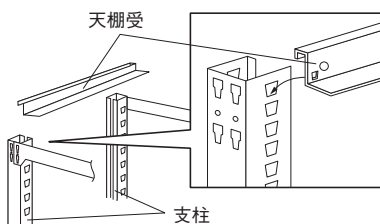
2 ビームの取り付け

左右の柱枠を立て、2つをつなぐようにビームを下段からはめ込みます。木のハンマー等でしっかりとたたきこんだあと、ロックピンを差し込んでください。上段も同様です。



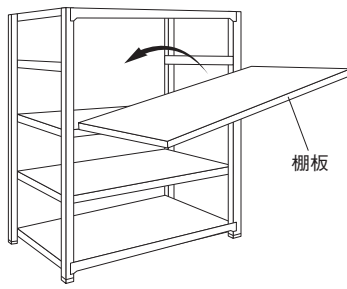
3 天棚受の取り付け

支柱から1つ目の角孔に天棚受けをはめ込みます。これで棚枠の完成です。垂直・水平を確認してください。



4 棚板の取り付け

棚板を前面より、傾けながら入れます。



5 見えやすい所に「警告表示シール」を貼って完成です。



商品改良のため、予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎0120-509-849

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail:techno.center@trusco.co.jp

<http://www.orange-book.com/>

MADE
IN
JAPAN

1711-SA-第4版

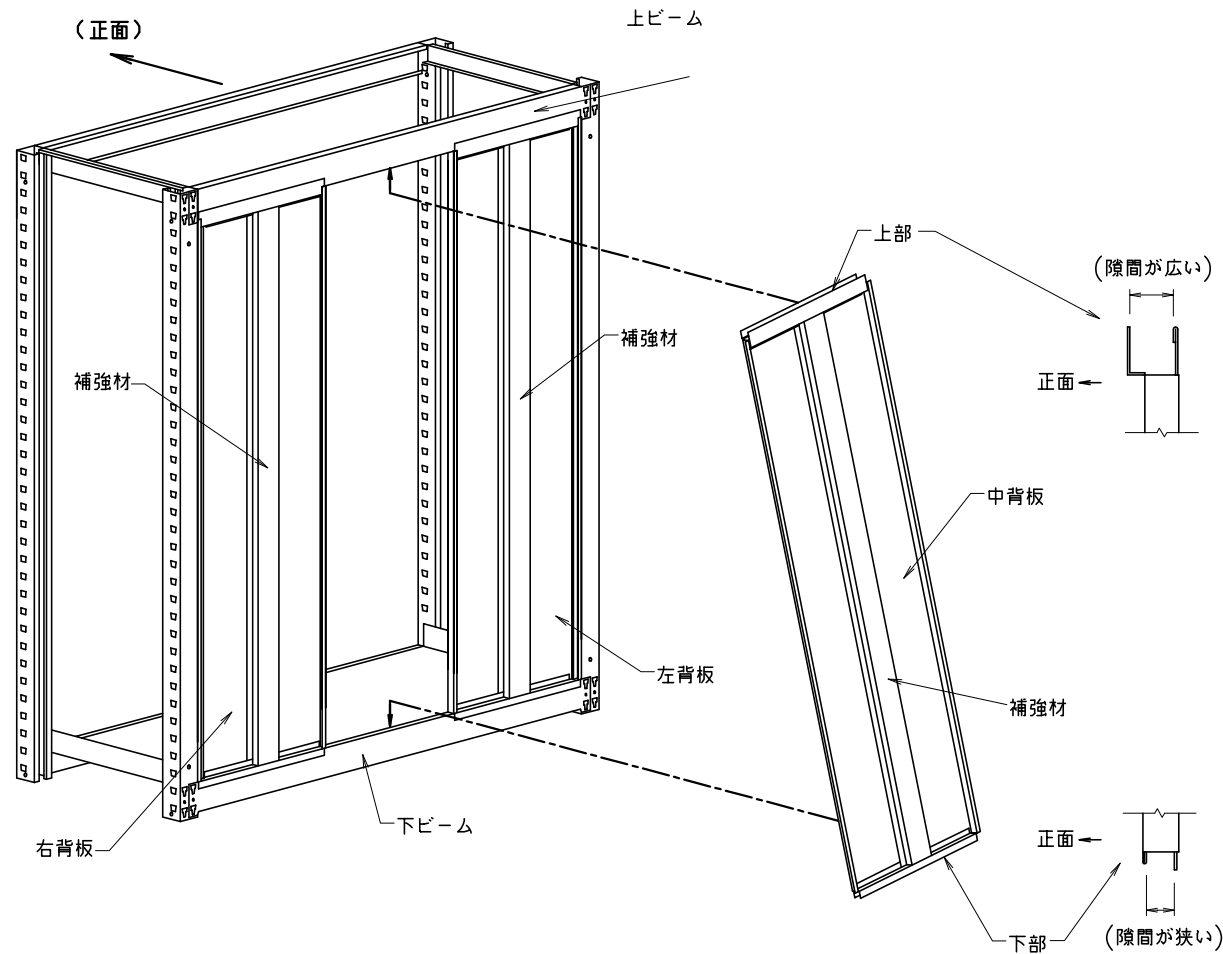
M2.M3.M5 型ボルトレス中量物品棚扉付 (背板) 組立説明書

[背板の取付方法]

背板は、左、右、中央の3分割タイプです。
補強材が外面に向くようにして各背板の上部(隙間の広い部分)を上ビームに差し込みながら下部(隙間の狭い部分)を下ビームに落し込んでください。

取付順序は、左背板、右背板を先に取付けてから中背板を取付けます。

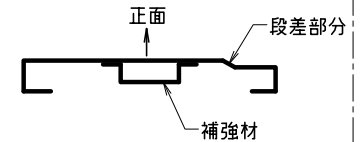
※ 右背板は、正面から見て段差部分が右です。
左背板は、正面から見て段差部分が左です。



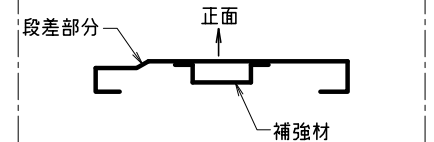
梱包内容

左背板	1
中背板	1
右背板	1
φ5×12トラスタッピンネジ	3

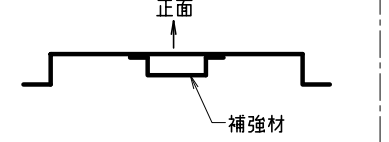
上部から見た左背板の断面形状



上部から見た右背板の断面形状



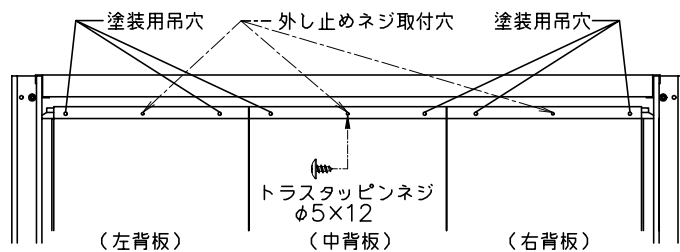
上部から見た中背板の断面形状



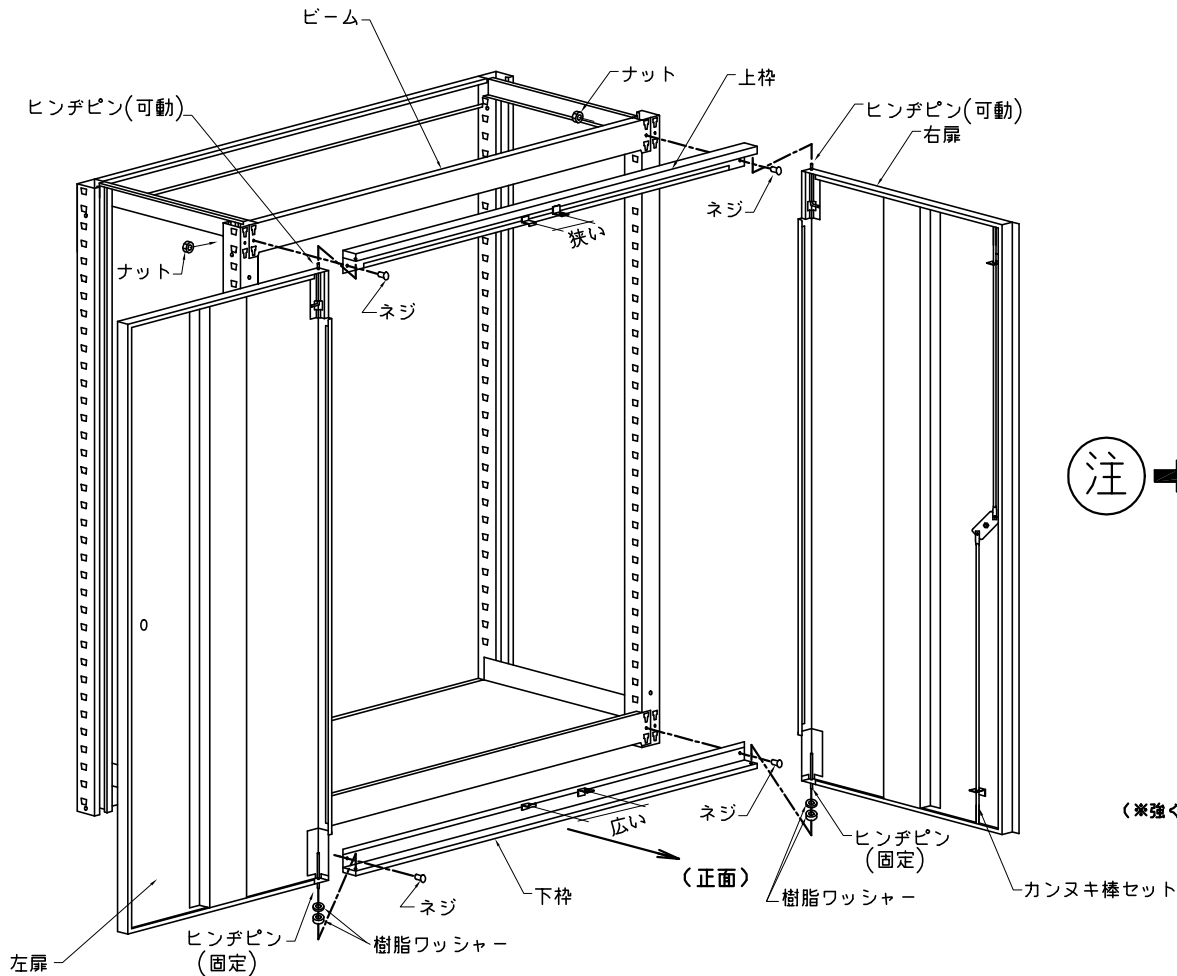
[背板外し止め施工について]

背板を3面(右、左、中)セットした後に内側から付属のネジを左図の外し止めネジ取付穴に取付けてください。

※中背板にネジを取付ける事により、左右の背板は外せない構造ですが、3面ともネジを取付ければよりベターです。



M2.M3.M5 型ボルトレス中量物品棚扉付 (扉板)組立説明書



[扉板の取付方法]

ー上下枠の取付けー

ビームの前面のロックピンを外します。ロックピン用の穴に上枠、下枠をM6×16ネジ、M6ナットにて取付けます。

※上枠は、中央の金具のピッチが狭い方です。

下枠は、中央の金具のピッチが広い方です。

ー扉板の取付けー

左右扉板の下面に出ているヒンチピン(固定)に、樹脂ワッシャー(厚みが3ミリと1ミリ)各1枚ずつはめ込み、ヒンチピンを下枠の受け穴に差込みます。次に、扉上部のヒンチピン(可動)を引きながら、上枠の穴に合わせて差し込んで下さい。

[ハンドルの取付方法]

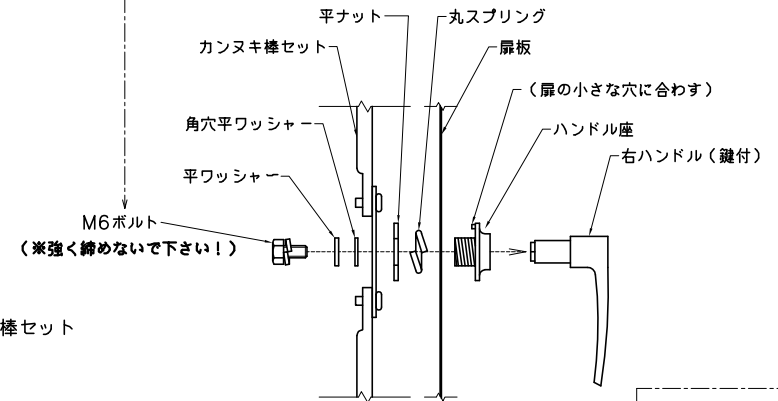
同梱されているハンドルを下図の通りに取付けて下さい。

※この時右ハンドル(鍵付)には、カンヌキ棒セットを

左ハンドル(鍵ナシ)には、φ23平ワッシャーをそれぞれ取付けて下さい。



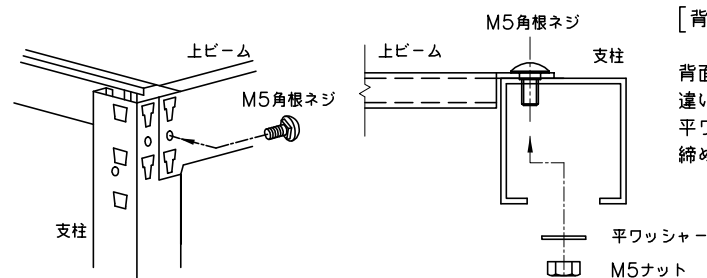
ハンドルを取付ける時、ナットを強く締め過ぎないで下さい。ネジ部が、亜鉛合金ダイキャスト製ですので破断する恐れがあります。



梱包内容	
右扉	1
左扉	1
上枠	1
下枠	1
右ハンドル(鍵付)	1
左ハンドル(鍵ナシ)	1
カンヌキ棒セット	1
M6×16ネジ	4
M6フランジナット	4
M5×20角根ネジ	4
M5ナット	4
平ワッシャーφ12×φ5	4
平ワッシャーφ23	1
樹脂ワッシャー3ミリ	2
樹脂ワッシャー1ミリ	2

[背面部外し止め施工について]

背面上下ビームのロックピン用の穴に、(扉セット又は、引違い戸セットに)付属のM5角根ネジを差込み支柱内面より平ワッシャー(φ12×φ5×t0.7)を入れ、M5ナットで締め付けてください。



[記] 該当する中量物品棚

組立完成品(使用中)又は該当する中量物品棚の各部材を、その組立説明書にて組立て、完成品とした後この組立説明書にて取付けて下さい。

M3型引出用スライド棚板

MM-SLT35S

取付・取扱説明書

トラスコ中山の製品をお買いあげいただきありがとうございます。

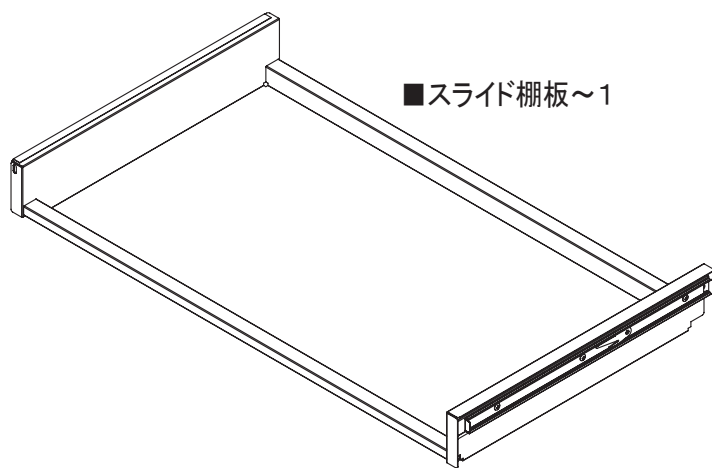
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい取付とご使用をお願いします。

取付・取扱上の注意点

1. 各棚板は、許容荷重（40kg）以上の積載はしないでください。
 - ・ 棚板の変形や破損が生じ、積載物が落下する恐れがあり危険です。
2. 飛出し防止のフックは、必ず取付てご使用ください。
 - ・ 地震時の安全装置ですので、取付けしないでご使用しますと、地震時に棚が飛出し、棚の転倒の恐れがあります。
3. スライド棚板を力任せに引き出さないでください。
 - ・ レールが外れて落下の恐れがあります。
4. 製品の清掃は、中性洗剤などをご使用ください。
 - ・ ラッカーシンナー等の溶剤を使用しますと、塗装の剥がれを生じます。

梱包内容

組み立てる前に必ず梱包内容を確認し、不足のある場合はご購入のトラスコ販売代理店にお問合せください。



■スライド棚板～1

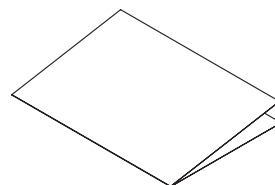


■棚受 L～1

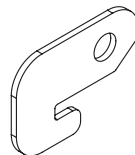


■棚受 R～1

■取付・取扱説明書～1



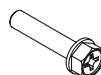
■ネジセット～1袋



・フック～1



・フック取付台座～1



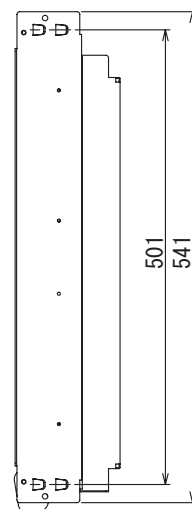
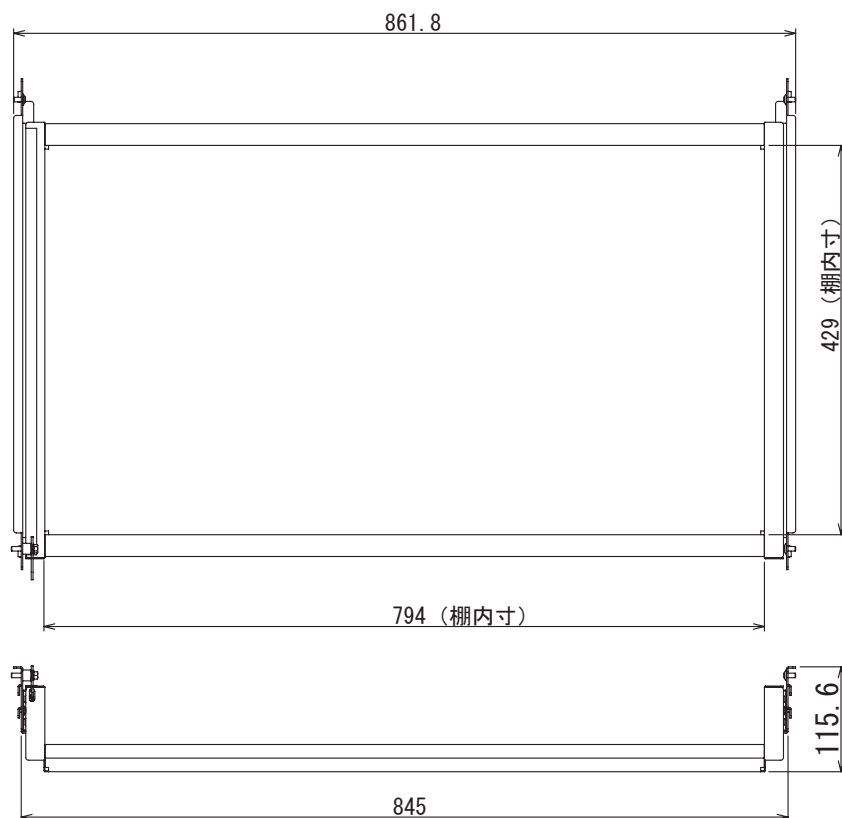
・十字穴付き六角ボルト
M5×20L～1



・トラス小ネジ M5×10L
～3

姿図

■本品は、M3型中量棚のD571の奥行取付穴ピッチ501mm、支柱間内寸幅が845mmの中量棚に適合します。



■1段に積載できる引出し

- ・ML-1=6個
- ・ML-2=3個
- ・ML-1=2個+ML-2=2個
- ・ML-1=4個+ML-2=1個

※引出しは別途で用意ください。
※引出しを利用しなくてもスライド棚としてご使用できます。

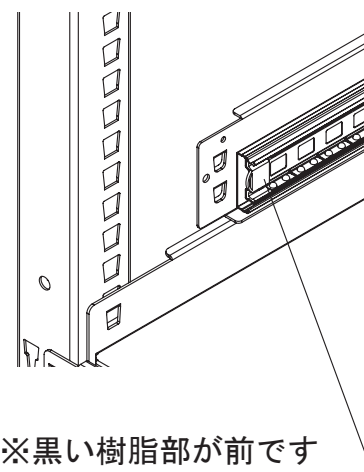
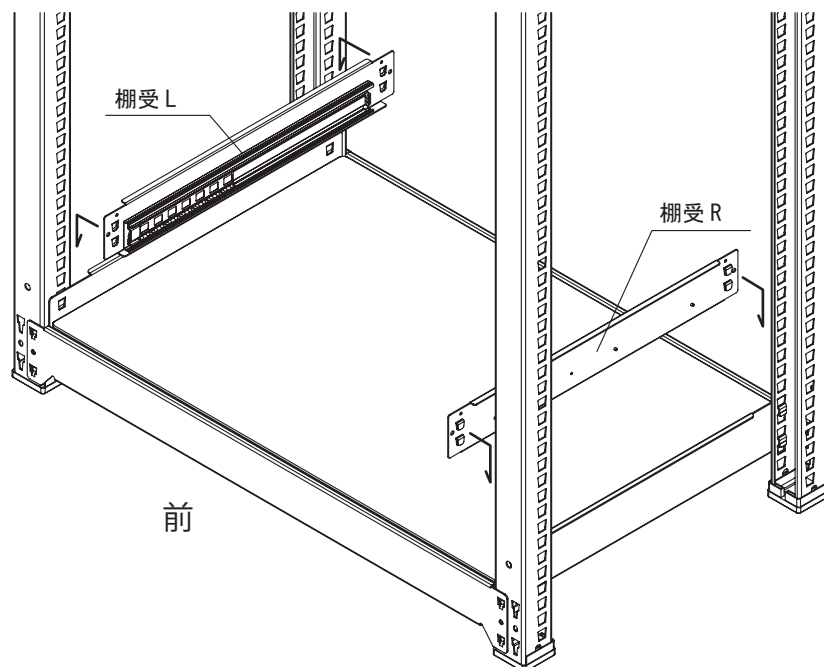
組立に必要な工具

■組立時には下記の工具が必要です。前もって準備しておきましょう。

- ・十字ドライバー（電動式が便利です）
- ・プラスチックハンマー

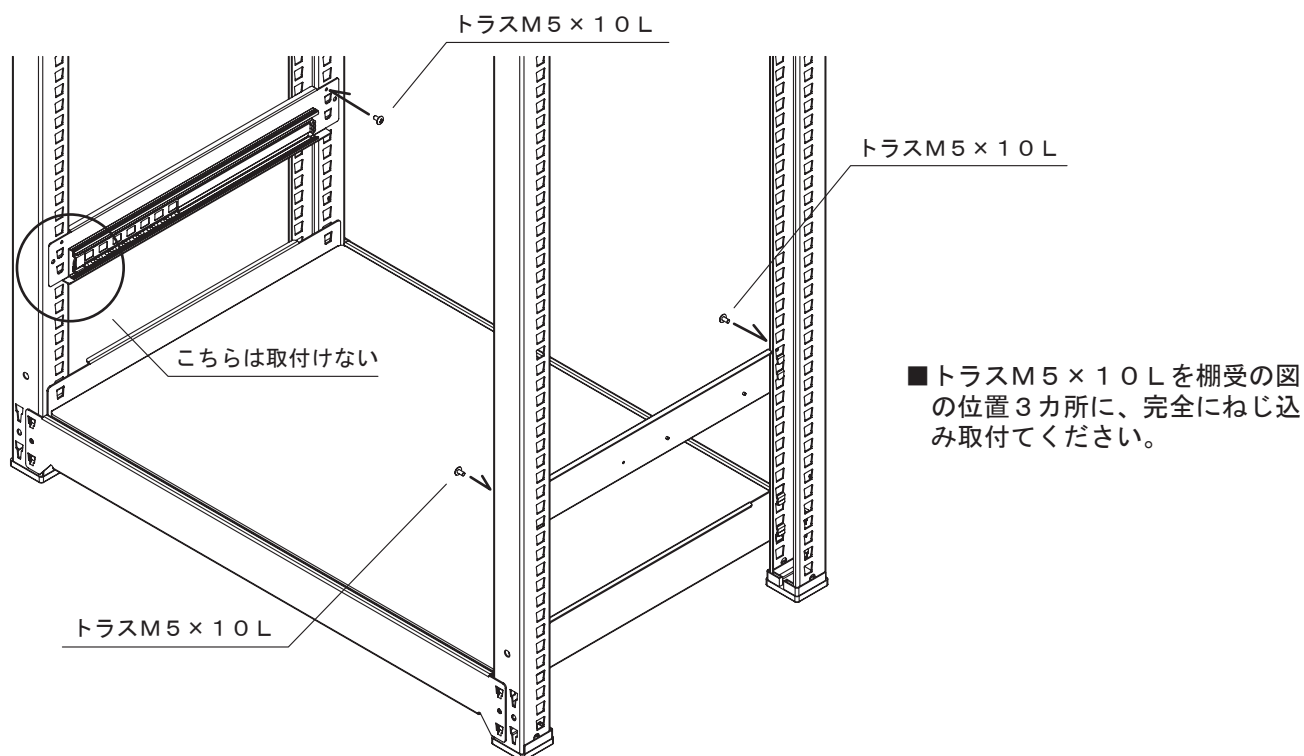
1 棚受L/Rの取付

■棚受のL/Rの爪を支柱の穴に掛け、所定の高さに取付けます。左右間違わないようにご注意ください。取付け後はプラスチックハンマーでしっかりと叩き込んでください。



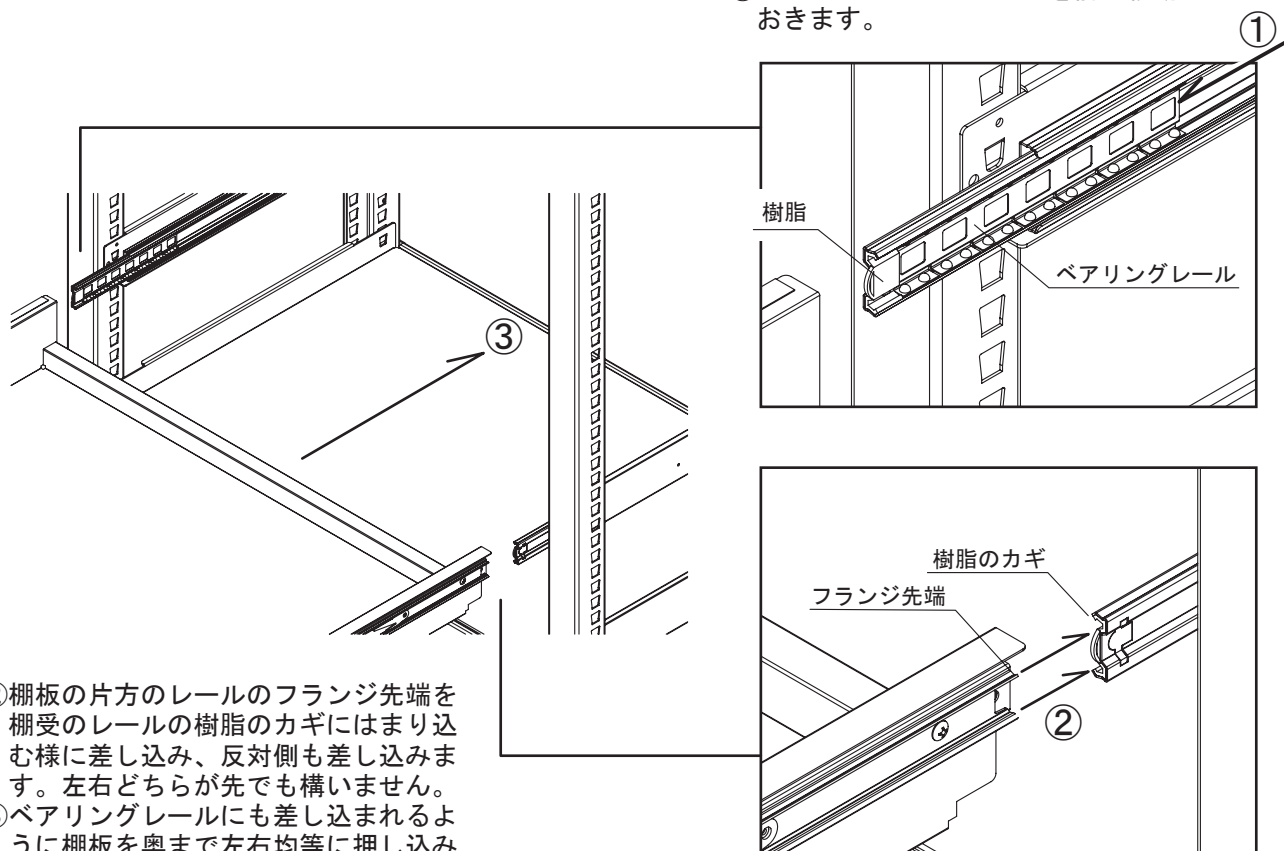
※黒い樹脂部が前です

2 跳ね上がり防止のネジを取付



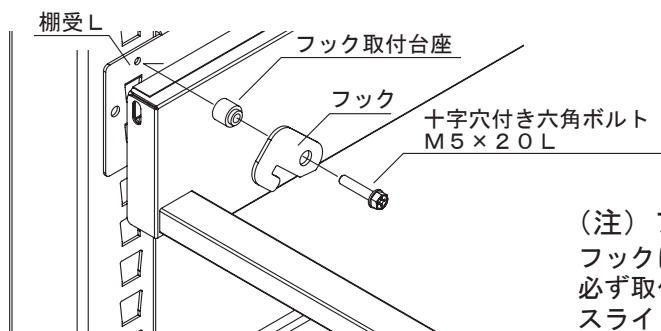
3 スライド棚板の取付

- スライド棚板のレールを棚受けのレールに差し込みます。 ①左右のベアリングレールを前に移動させておきます。



- ②棚板の片方のレールのフランジ先端を棚受けのレールの樹脂のカギにはまり込む様に差し込み、反対側も差し込みます。左右どちらが先でも構いません。
 ③ベアリングレールにも差し込まれるように棚板を奥まで左右均等に押し込みます。
 引出してみてもベアリングレールにはまっていなければ再度やり直してください。
 ※はまり込んだレールを外す方法はP 4を参考にして外してください。

4 フックの取付



■フック取付台座にフックをはめ込み、十字穴付き六角ボルトM5×20Lで棚受Lに固定してください。

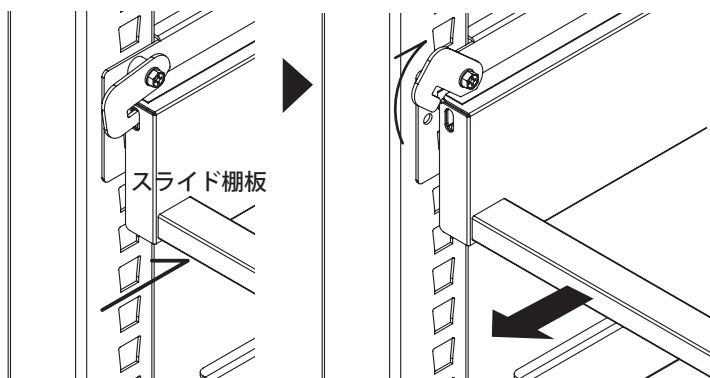
※この時、フックは自由に回転することを確認してください。動きが悪い場合は、潤滑剤等を差して動くようにしてください。

(注) フック取付の注意

フックは、地震時に棚が飛び出さ無い為の安全装置です。必ず取付てご使用ください。

スライド棚板の全部が飛出して、中量棚の転倒の恐れがあります。

5 スライド棚板の引出し方

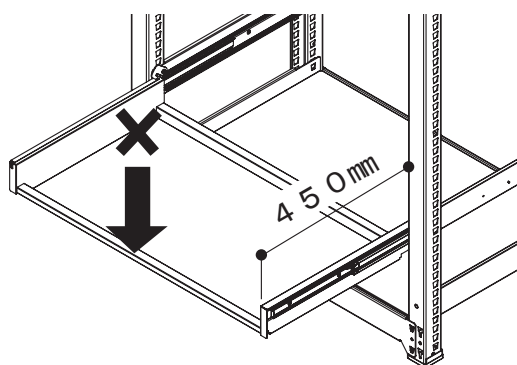


■スライド棚板が奥に押し込まれた状態でフックを上回転させてロックを外し、スライド棚を手前に引き出します。

スライド棚板を奥に押し込めば、フックは自動的に回転し下がり棚板の穴に入り込みロックが掛かります。

(注) スライド棚板を引き出す時の注意

スライド棚板を力任せに引き出さないでください。レールのストップ機構は樹脂で出来ていますので破損し、棚板の落下の恐れがあります。丁寧な取扱いをお願いします。

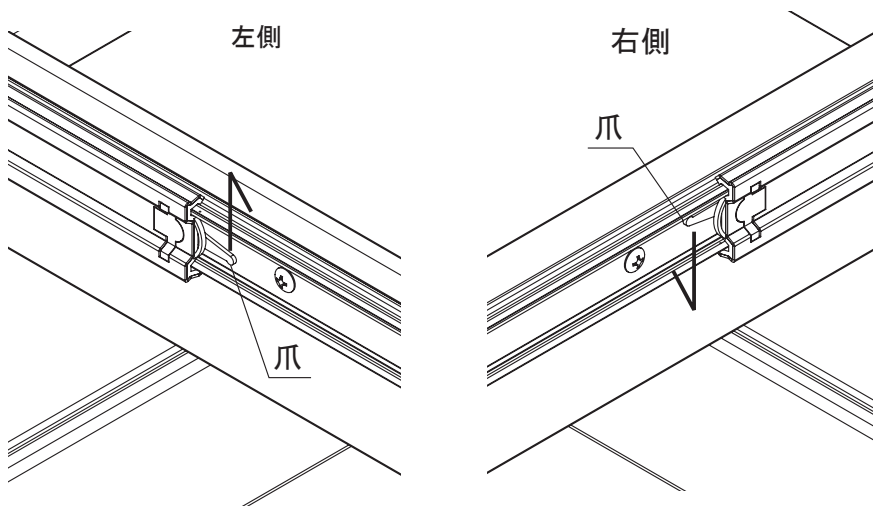


(注) スライド棚板を引き出した時の注意

スライド棚板は積載物を取り出しやすいようにフルスライドレールを使用していますので、柱の前面から450mm出てきます。

引き出した状態で上から手で押さえ付けたり、許容荷重の40kg以上を乗せないでください。

6 段替え時のスライド棚板と棚受けの取出し方



※スライド棚板の段替えをする時に、スライド棚板を取り出し、棚受の高さを変え、段替えを行います。

■スライド棚板を前まで引き出した状態で棚の底を手のひらで支え、親指で左は上に右は下に爪を押しながら、レールを抜き、スライド棚板を取り出します。

フック、跳ね上がり防止ネジを取り外し、棚受けを支柱から取り外して、段替えをしてください。

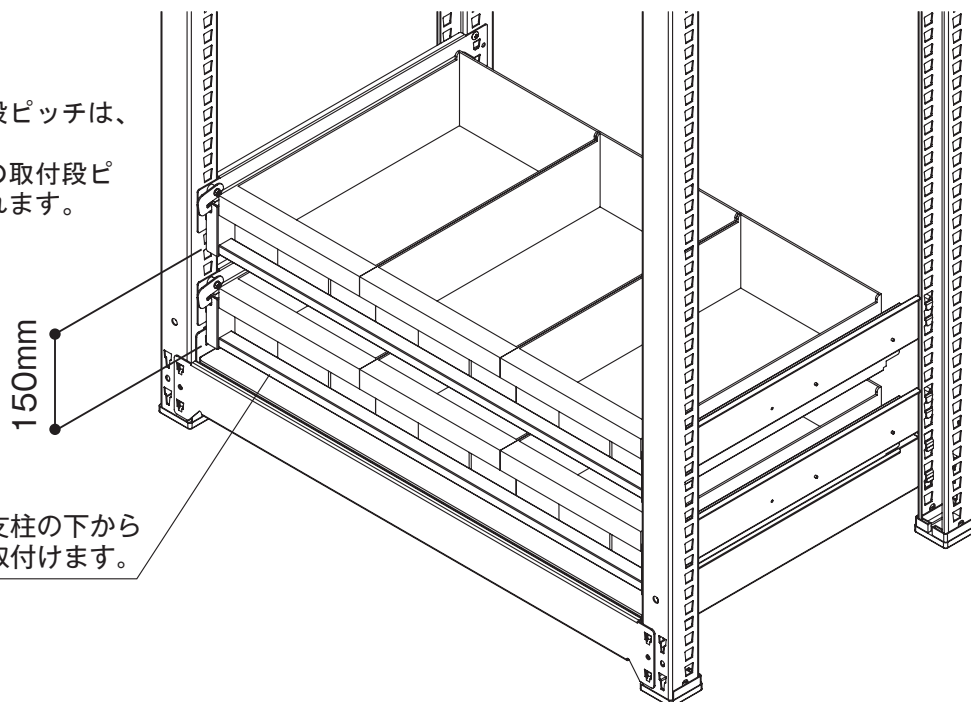
7 スライド棚板の取付段ピッチ

※本品は、自由な高さに取り付け変更が可能です。

取付位置の変更は、P 6 の 6 を参考にスライド棚を取り外し、P 3 の 2 と P 4 の 4 を参考に部品を外して棚受けを取り外しおこなってください。

※スライド棚板の最低取付段ピッチは、150mm です。

ご用途に合わせて、棚板の取付段ピッチを変えてご使用になれます。



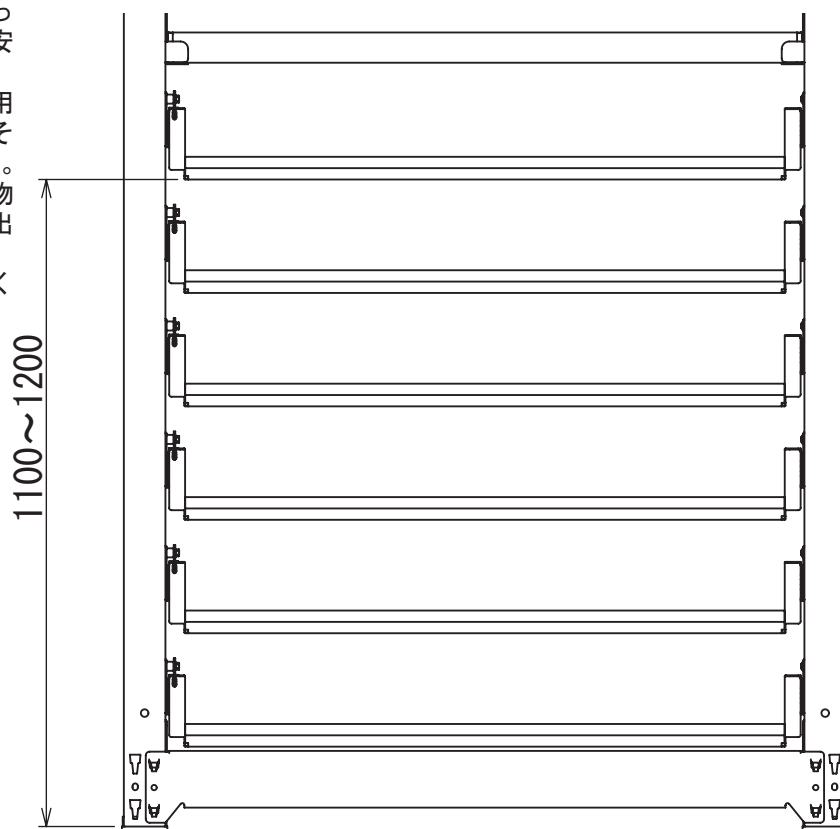
※最下段は、棚受け下の爪が支柱の下から8番目の穴に掛かるように取付けます。

8 スライド棚板の有効取付高さ

■スライド棚板は、引き出すことによって積載物が奥まで確認でき、取出し安い便利な棚板です。

その目的から最大の設置高さは、利用する方の身長にもよりますが、およそ1100mm～1200mmくらいです。それ以上の高さに設置しても、積載物を確認することが出来ない場合や取出しにくい場合があります。それ以上の段は一般の棚板をご利用ください。

また、棚の転倒の危険性もあります。



総発売元

トラスコ中山株式会社

お客様相談室



0120-509-849

<https://www.orange-book.com/>

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

MADE IN JAPAN

202110